

会社概要

(2017年9月30日現在)

社名 トーカロ株式会社 TOCALO Co.,Ltd.
 設立 1951年7月
 所在地(本社) 神戸市中央区港島南町六丁目4番4号
 資本金 26億5,882万3千円
 従業員数 単独 608名 連結 951名

子会社

日本 日本コーティングセンター株式会社
 神奈川県座間市
 中国 東華隆(広州)表面改質技術有限公司
 広東省広州市
 中国 東質隆(昆山)電子有限公司
 江蘇省昆山市
 台湾 漢泰国際電子股份有限公司
 台南市
 アメリカ TOCALO USA, Inc.
 カリフォルニア州
 インドネシア PT.TOCALO SURFACE TECHNOLOGY
 INDONESIA
 カラワン工業団地

役員

(2017年9月30日現在)

代表取締役会長 町垣 和夫
 代表取締役社長 三船 法行
 専務取締役 木村 一郎
 常務取締役 久野 博史
 常務取締役 黒木 信之
 常務取締役 樽見 哲男
 取締役 進 英俊
 取締役 千葉 祐二
 取締役(社外) 山崎 優
 取締役(社外) 吉葉 正行
 取締役(社外) 丹波 晨一
 監査役(常勤) 北秋 廣幸
 監査役(常勤・社外) 吉田 敏彦
 監査役(常勤) 小山 俊彦
 監査役(社外) 中田 琢也

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 基準日 定時株主総会については3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
 公告方法 電子公告
 公告掲載URL <http://www.tocalo.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、
 その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本
 経済新聞に掲載いたします。)

株式の状況

(2017年9月30日現在)

発行可能株式総数 40,960,000株
 発行済株式の総数 15,800,000株
 (内、自己株式601,242株)
 単元株式数 100株
 株主数 3,513名

大株主

持株数(千株)

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 2,125
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 1,211
 GOVERNMENT OF NORWAY 795
 トーカロ従業員持株会 779
 BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND 730
 (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)
 トーカロ株式会社 601
 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 478
 西條 久美子 259
 広瀬 真理子 238
 RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT- 224
 CLIENT ACCOUNT

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

TOCALO REPORT 67

中間報告書 2017年4月1日から2017年9月30日まで

新本社

豊かな暮らしの中に、
 トーカロの技術が溢れています。

TOCALO トーカロ株式会社

証券コード：3433(東証一部)

TOCALO トーカロ株式会社

〒650-0047 神戸市中央区港島南町六丁目4番4号
 TEL 078-303-3433



環境に配慮した「植物油インキ」
 を使用しています。



代表取締役社長

三船 法行

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当社第67期中間期(2017年4月1日から2017年9月30日まで)の事業の状況につきまして、ご報告申し上げます。

中間期の連結業績について

国内外で緩やかな景気回復が続く中、当中間期における当社グループ全体の業績は、半導体・FPD(フラットパネルディスプレイ)や鉄鋼分野などの好調な受注を追い風に、計画を大きく上回るペース(対計画比で売上高が10.6%増、経常利益が21.4%増)で推移しております。

売上高につきましては、半導体・FPD分野向けコーティングが、データ大容量化に伴うメモリー需要増加やIoT(Internet of Things)の広がりで大きく伸長しました。また、高速鉄道車両用ベアリングへのコーティング需要や鉄鋼関連の受注アイテムが増加し、前年同期比22億21百万円(15.7%)増の163億62百万円となりました。

損益面では、効率的な増産対応を行うとともに一層のコスト削減に努めた結果、経常利益は前年同期比10億9百万円(39.1%)増の35億92百万円となりました。

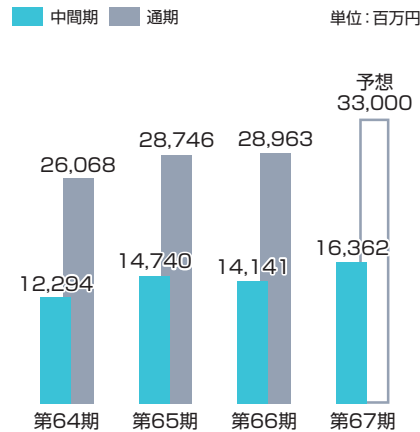
今後の業績見通し、舵取りについて

今後、半導体産業における中国での投資拡大や大型液晶パネル・有機ELパネルへの大規模な投資が継続されるとともに、IoT、AI、自動運転などへの対応で拡大する世界的な半導体需要を背景として、当社の受注は引き続き好調に推移するものと予測されます。半導体・FPD以外の分野では、新素材(高性能フィルム、高性能鋼板など)、エネルギー・環境(ボイラ、ガスタービンなど)、輸送機(高速鉄道、航空機など)、医療(手術器具など)などの成長が見込まれる分野で新しい皮膜開発を積極的に行う一方で、部品や装置の耐久性向上や長寿命化により、お客様の省エネ・省資源・環境負荷低減に貢献できる表面改質技術を広く普及させ、市場の拡大に努めてまいります。

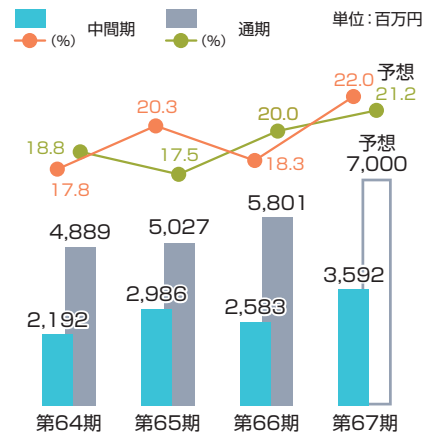
この度、新本社ビルが神戸市中央区のポートアイランドに完成し、2017年8月21日に移転いたしました。更なる飛躍に向けて邁進してまいりますので、今後とも倍旧のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

前年同期比で増収増益となり、通期業績予想を上方修正しました

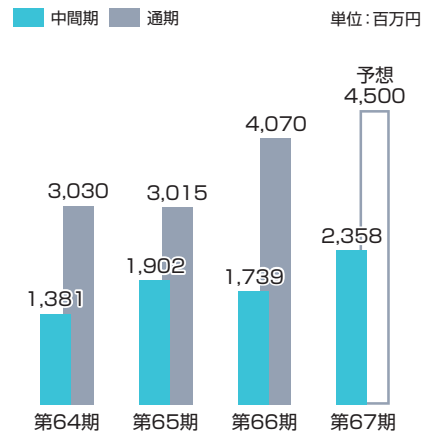
売上高



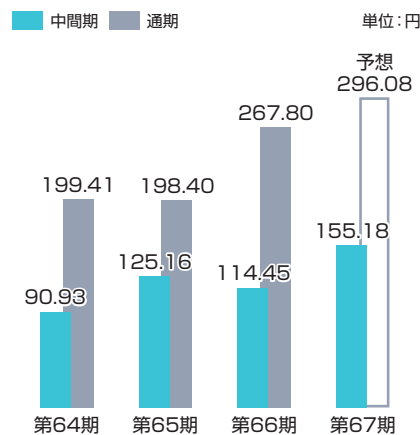
経常利益・経常利益率



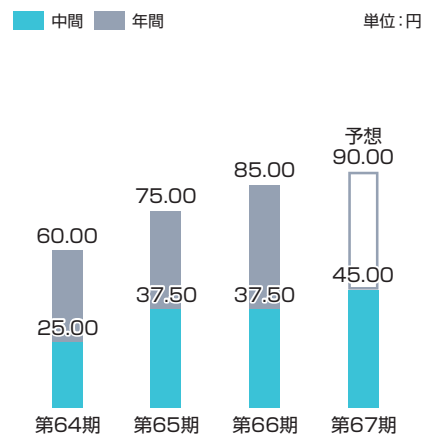
親会社株主に帰属する当期純利益



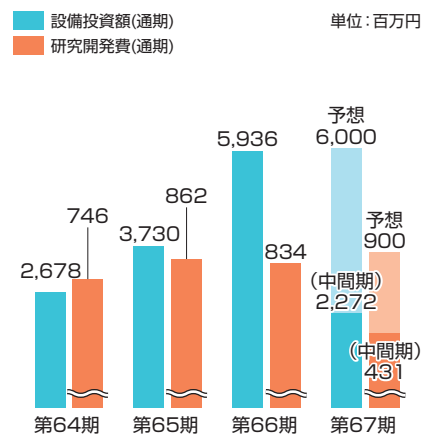
1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



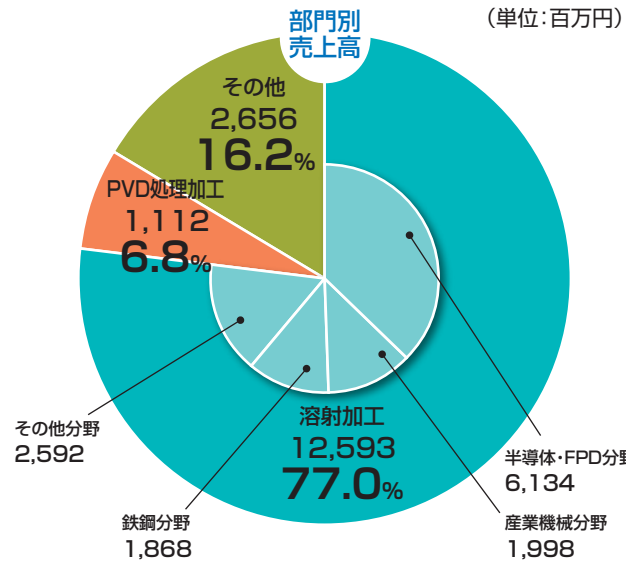
設備投資額・研究開発費



(注)通期業績予想は、平成29年10月31日に修正いたしました。

〔第67期 中間期〕

売上高 **16,362**百万円



溶射加工とは

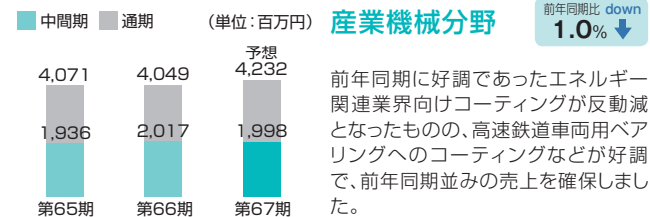
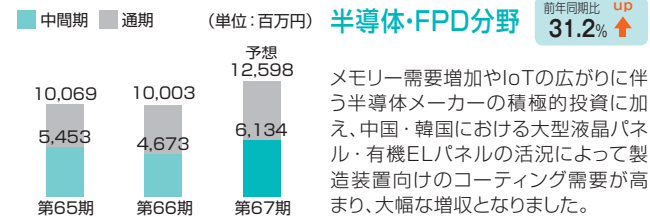
金属やセラミックス、サーメット等のコーティング材料をプラズマやガス炎等の高温熱源で加熱・溶融し、被加工品に吹き付けて皮膜を形成する表面改質法です。耐摩耗性や耐熱性等の耐久性能の向上、導電性や電気絶縁性等の電気的特性の付与、遮熱性や放熱性といった熱的特性を与えるなど、様々な機能を付与することができます。

PVD処理加工とは

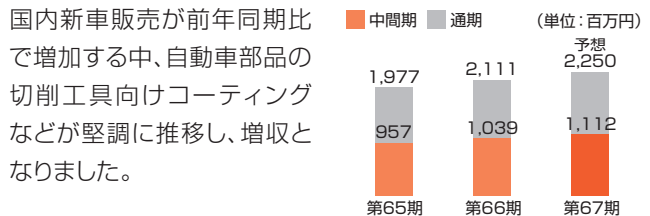
Physical Vapor Depositionの略で一般的には、物理蒸着法と呼び、真空中でチタン、クロムなどの金属を反応性ガスとともにイオン化し、切削工具、金型など被加工品の表面に、密着力の高い緻密な薄膜を形成する表面改質法です。耐摩耗性、耐腐食性などの機能を付与することができます。

溶射加工

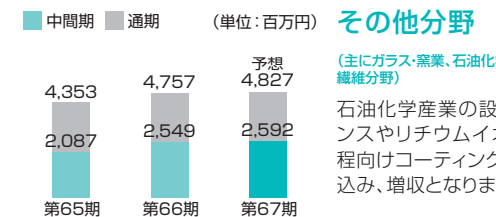
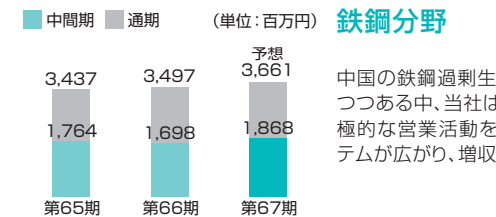
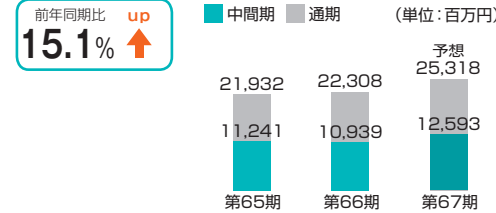
「半導体・FPD分野」の売上高が、世界的に旺盛な半導体・FPD設備投資需要を背景として大きく伸びました。また、「鉄鋼分野」では高炉メーカーを中心に受注アイテムが増加するなど、各分野とも総じて好調に推移し、全体として前年同期比で大幅な増収となりました。



PVD処理加工



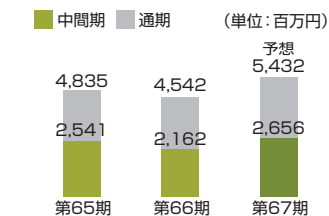
国内新車販売が前年同期比で増加する中、自動車部品の切削工具向けコーティングなどが堅調に推移し、増収となりました。



その他

(TD(拡散浸透法)、ZAC(化学緻密化法)、PTA(特殊粉末肉盛法)および海外子会社の業績)

台湾で半導体・FPD製造装置向けコーティングを行う漢泰国際電子股份有限公司をはじめとして海外連結子会社が総じて好調で、増収となりました。



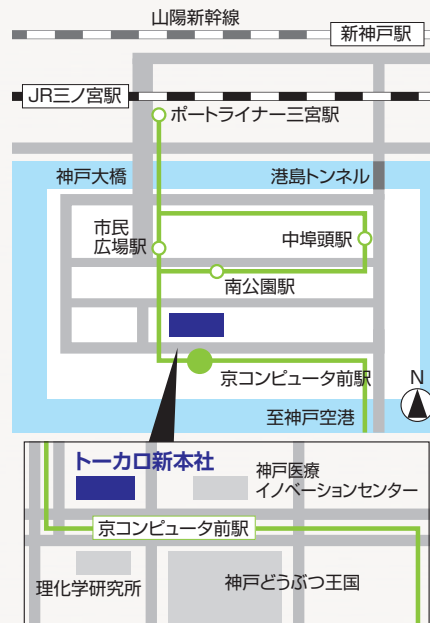
TOPICS

個人投資家説明会へ出展しました。

先般、8月25日(金)、26日(土)に東京ビッグサイトで開催されました日本経済新聞社主催の「第12回 日経IR・投資フェア2017」に出展いたしました。会期中は当社出展ブースにてミニ会社説明会を行い、非常に多くの投資家の皆様にお立ち寄りいただき、当社へのご理解を深めていただくことができました。今後も個人投資家説明会に継続して出展いたしますので、ぜひお越しください。



当社ブースの様子



神戸・ポートアイランドにある 医療産業都市エリアに本社を移転いたしました。

当社は1951年の創業より神戸市東灘区に本社を構えておりましたが、会社の成長に伴い手狭となったことから、2017年8月21日付をもって神戸市中央区にあるポートアイランドへ本社を移転いたしました。

移転先は創業の地である神戸にこだわりを持ちつつ探していたところ、神戸市より日本有数の医療産業都市エリアであるポートアイランドを紹介いただいたものです。新社屋は技術・信頼・情熱を繋ぎ、時代の荒波を一丸となって乗り越えていきたいという思いを基に「未来へ繋ぐ技術の方舟」をコンセプト

とした船型の建物となっています。新社は東証一部上場企業にふさわしく、また社員が誇りを持てる先進的な社屋で、優秀な人材の確保にも繋がると考えています。

また、本社内に技術開発研究所拠点を新設し、医療分野における新市場向けの開発などを進めています。今後とも事業拡大に鋭意注力してまいりますので、宜しくお願いいたします。

〒650-0047
神戸市中央区港島南町六丁目4番4号
ポートライナー京コンピュータ前駅より徒歩3分

What's トーカロ

トーカロの溶射はすごいぞ! **溶射の技術で石炭火力発電もおまかせ!**

寒い冬に電気がなくなったら大変!

エアコンも電気で動いているもんね。

お父さんの会社の技術は電気を作る時にも役に立っているんだ!

発電所はボイラで石炭などを燃やして電気を作っているんだ。

えっ、そうなんだ!!

どこに技術が使われているの?

ボイラの中で細かい石炭が管を摩耗させるのを防いでいるんだ。

ボイラ

燃料

ボイラ

蒸気タービン

発電機

送電鉄塔

ボイラの管が摩耗するの?

そうなんだ、細かい石炭はすごく硬いんだ。

溶射イメージ

摩耗に強い材料

溶射装置

加工対象物

ボイラ

摩耗からボイラを守ることによって、電気の安定供給に貢献しているよ。

これで寒い冬も安心だね!

スゴイ!

摩耗に強い材料をボイラ管に溶射するんだ!